

新年を華々しく飾る1月新年例会・賀詞交歓会開催

【より一層響かせ合う年に】

平成30年の幕開けとなる新年賀詞交歓会が1月15日、総務・広報委員会担当の1月新年例会としてスマイルホテル米子にて、現役会員はもとよりご来賓10名、OB



会員56名と多数のご臨席を賜り華々しく開催された。冒頭の会長挨拶にて、三輪会長から、「本年度のスローガン『響～真摯な行動～』のもと、

上半期の事業を通じて学んだこと、活動によって培ってきた仲間との絆をもって、より一層響かせ合う会となり、我々の活動が地域に響くものとなるよう、会員全員で真摯に下半期も一層活動していきたい」との思いと、本年5月の「第3回大山お地蔵さまフェスティバル」に向けた意気込みが語られた。

【活気あふれる賀詞交歓会】

ご来賓を代表し赤沢亮正衆議院議員、中山貴雄鳥取県西部総合事務所長よりご祝辞を頂いた。また、OB会を代表して土井一郎OB会長からご挨拶を頂き、「第3回大山お地蔵さまフェスティバル」成功に向けた激励のお言葉を頂いた。そして、「よいしょ」という掛け声を響かせ合い当会の更なる飛躍と参加者一同のご多幸を祈願

して鏡開きが行われた。その後、伊木隆司米子市長のご発声のもと、出席者全員により華々しく乾杯が行われた。会場内ではご来賓、OB会員及び現役会員により交流がなされ、賀詞交歓会の名にふさわしい活気あふれる賑やかな懇親の場となった。



【地域に根づく活動を】

古くから地元で受け継がれた伝統芸能のひとつ「米子歌舞伎」を今に伝える米子歌舞伎保存会により、「一本刀土俵入」が華々しく披露され、その演技に来場者は大いに魅了された。

当会の継続事業である「第3回大山お地蔵さまフェスティバル」について、担当の地域交流委員会堀尾委員長より、フェスティバルに向けた熱い思いの込められた説明とPRが行われ、併せてお地蔵さまのマスコットキャ



クター（着ぐるみ）のお披露目も行われた。

【太鼓で「響」を体験】

新年の幕開けを祝うべく、新入会員による太鼓の演奏が行われた。新年例会に向けて芸能集団「和楽衣箱」の指導のもと練習を重ねており、その磨き上げられた猛々しい太鼓の響きは会場を大いに盛り上げ、新年の門出に花を咲かせた。また、続いて各新入会員の自己紹介では、自己PRが行われた。



最後に中締めのご挨拶を中村勝治境港市長よりいただき、乾杯で賀詞交歓会は閉会した。

(記事:住)



1月新年例会を終えて

総務・広報委員会 木嶋康之 委員長
(株D・I・P)



まずもって、ご来賓の皆様10名・OB会員の皆様56名と大変多くの方にご臨席いただきましたことを改めて御礼申し上げます。そして、現役会員の皆様には、お願いばかりさせていただきましたが、全力で応えていただきありがとうございました。多くの方をお招きしての大切な事業を担当する総務・広報委員会ですが、全会員の力があってこそ大盛会だったと思います。特に新入会員の皆様には、アトラクションの練習に大変多くの時間を割いていただきました。見事今期のスローガンである「響」を体現していただき皆様に驚きと感動を与えて下さいました。本当に感謝しています。また、今回の1月新年例会において様々な変更点や不安がある中、委員会メンバーの機転と経験により、大きなミスもなく事業を行うことができて委員会メンバーのありがたさと凄さを改めて感じました。そして今回の例会開催に関して事務局の岡島さんにお手伝いいただきました。いつもありがとうございます。

この後にもまだ事業が残っておりますが、皆様に「参加して良かった」と言っていたらよい総務・広報委員会メンバー全員で丁寧に取り組んで参ります。

残り半年ですが、委員会メンバーの皆様よろしくお願ひします。

2月例会に向けて

政治行政委員会 橋本真和委員長
(美保テクノス(株) 基礎技術事業所長)



第43期政治行政委員会では、委員会テーマを「堅守速攻経営を学ぶ～リスク管理で経営を変える～」とし、経営における守りの部分、中でも労働に関わるリスクについての検証を行ってきました。9月例会では、労働に関わるリスクを抽出し、法的観点からの解決法、リスク管理手法を会員の皆様に伝えてきました。その中で、挙がってきた労働問題の一つである「労働者不足」をテーマに2月例会を企画しています。

昨今、地方の中小企業を取り巻く環境は依然と厳しく、長時間労働、深刻な人手不足、少子高齢化による若者不足等、多くの労働問題を抱えています。都市部一極集中により、鳥取県の有効求人倍率は年々上昇し、現在ではバブル期を上回る1.65倍と高水準で推移し、深刻な労働者不足、離職率となっています。例会を通じて、優秀な人材を確保する手法や離職率を低減させる為の手法、そして県内の雇用状況と行政施策の説明を行っていきます。そして今後、我々若手経済人として取るべき行動を会員全員で共有する場として

ていきたいと思っています。会員の皆様にとって役に立つような例会を目指し、委員会メンバー一丸となって頑張っていきますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

LOVE LOVE 中央会 辻 拓哉 (昭和ウインドウ(株) 代表取締役)



遡ること15年、初めての例会の場の壇上で、「皆さんこんばんは！」と挨拶をしたときの風景を今でもよく覚えている。

工工歳こいたオッサン達が元気よく挨拶を返してくれたことに若干の感銘を覚えた。そして、緊張の中で沢山のオッサン達を見渡しながら自己紹介をしたのが今となっては懐かしい。

その懇親会では、所謂重鎮の方から「今日の自己紹介、良かったぞ〜！」と褒められた。

単純に嬉しかった。先輩にとっては何気ない一言かもしれないが、後輩にとっては大きな一言である。中央会活動頑張ろうと思った。(単純・・・)

その後の生活は皆と同じようにどっぷり中央会である。中だるみはあったものの(中だるみ長すぎっ!)なんとかかんとか卒会を迎えられそう。

ウォーターボーイズ、トライアスロンボランティア部、副委員長、委員長...その他いろいろな思い出があり、大変なこともあったが(今となっては全てが良い思い出)やっぱり中央会のことの方が好きだったから続けてこられたと思う。

後輩の皆さんに偉そうな事を言える立場ではないが、一所懸命(頭使って、体使って、全部使って)頑張れば、見えてくる風景があると思う。そして、中央会のこと好きになるだろう。

第38回 全日本トライアスロン皆生大会実行委員長決定

実行委員長 高塚 康治 (株)富士オートメーション 取締役副社長)



第38回全日本トライアスロン皆生大会 中央会での実行委員長を拝命いたしました高塚です。振り返ってみますと、入会后A S部を1年経験し、その後はマラソン部一筋のトライアスロン。おかげをもちまして、青Tが私のトレードマークとなるまでに成長させていただきました。今日も明日も青T着ています。そんな私の次なる使命は、会全体を響かせ合い、各部協力し合い、継続事業の新しい形を模索するきっかけの1年とすることだと考えております。その中でもやはり、他の部がどのような活動をしているのかもわからない現状を、なんとかみんなで共有しながら進めていくこと。また、全会員が「負担」と感じながら事業を行うのではなく、どこかに「楽しみ」や「やりがい」や「達成感」を感じることができるような事業にすることなど、踏み込んでいきたいと考えております。これまでは当たり前のようにやってきたことも、なぜ?なぜ?なぜ?を繰り返して、生産性向上を図ること、また組織を活性化させていくことが実行委員長としての使命と捉え、取り組んで参ります。

会員減少が避けては通れない現実があるなかで、様々な可能性を考えながら、先輩方が築かれてきた継続事業を丁寧に丁寧に進めて参ります。会員の皆さま、ぜひご理解とご協力のほど、よろしくお願ひいたします!

新年例会 新入会員アトラクション感想

新入会員アトラクションリーダー 中西 悠介
(株LABO 工事部次長)



昨年10月19日に新入会員アトラクションのプロジェクトがスタートして太鼓を叩く事が決まってから1月15日の新年例会を終えるまで、木嶋委員長や芸能集団「和楽衣箱」の先生方など色々な方々からサポートを頂きました。その中で新入会員という仲間と共にした3ヶ月は非常に濃く充実した日々を過ごすことができました。新入会員同士、毎週練習で顔を合わせ、頻りに連絡を取り合っていたのですが今、原稿を書いている最中に「終わったんだな」という気持ちが出てきて少し寂しく感じています。アトラクション本番では、たくさんの激励と私自身のサプライズ坊主が着火剤となり、新入会員一同で熱い気持ちを込めて旗を振りながら太鼓を打ち出し、三輪会長が掲げたスローガン「響」を体現することができました。新入会員アトラクションという一つの目標を仲間と突き進んだ経験は私自身の財産となり、私自身も成長させて頂きました。この勢いで中央会の活動も邁進してまいります、皆様本当にありがとうございました。



Motto 教えて

野口 浩一 (川中・野口法律事務所 弁護士)

平成20年3月に青年中央会に入会し、約10年が経過しました。最近では自己紹介をする機会がありませんので、今後の約10年の中央会生活を控えて良い機会を与えていただきました。

私は伯耆町(旧岸本町)で生まれ育ち、高校では甲子園出場を目指して硬式野球部に所属していました。甲子園には出場できませんでしたが、これまでの人生で一番濃い時間でした。特に入学当初は上級生に懇切丁寧に非常に手厚くご指導いただきました。朝早くから夜遅くまで苦勞を共にしたチームメイトとは、今となっては当時を笑いながら語り合います。

大学入学時には法学に全く興味はなく、将来の目標を持たない普通の大学生として怠惰な生活を送っていました。しかし、授業を受ける中で法学に興味を持ち司法試験を受験することになり、それから図書館の机で毎日数時間勉強するようになりました。ともに司法試験合格を目指す友人に負けまいと切磋琢磨しながら勉強していたことを思い出します。

友人関係について振り返ると、長く関係が続いているのは、一緒に苦勞した友人、つらい時間を乗り越えた友人ばかりです。楽しい時間を過ごしただけの友人とは自然と疎遠になっていると感じます。この中央会生活を通じて、長く付き合っていける友人関係を築きたいと思っています。

Motto 教えて

古都 剛志 (有米子タイヤサービス 取締役)

今回はこのような機会を頂きましたので私が中央会に入会した経緯を読んでもらっていただければと思います。

私は高校卒業後下手の横好きで海外にサッカーをしに行っていました。結局サッカーは何年かして辞めてしまい、その後大阪で旅行会社の添乗員、調理師等していましたが日交バスから見る王子製紙の煙突が恋しくなり地元に戻ってきました。

地元で調理師を何年かしていましたが辞めてしまい、その時父親から今の仕事に誘われました。車関係の仕事はあまり興味がなかったのですが、自営業には興味がありましたので入社に至りました。私の会社は父親の代から創業し40年位となります。繁忙期はアルバイトの方をお願いしていますが、普段は父親と二人、仲は余り良くないのですがどうにか続けています。

私は中央会のような経済団体にはあまり関心がなかったのですが、父親の人脈の繋がりが重要だという考えに聞く耳を持つようになり、ミトクハーネスの長谷川先輩にご紹介頂きまして入会させて頂きました。

私自身中央会に対するモチベーションは他の会員の皆様に比べると及ばないかもしれませんが、自分の身の丈に合った行動をしようと常日頃から思っていますので、宜しく願い致します。このような機会を頂きまして有難う御座いました。

代表取締役就任



浜田 貴稔(有こめや産業 代表取締役)

この度、有限会社こめや産業の代表取締役に就任いたしました、浜田貴稔です。社業は、境港市で食品の製造販売、卸、仕出しなどを行っております。創業は昭和55年で2代目となります。現在は、まだまだ社長業というよりも日々起こる問題を懸命に解決するのがやっとですが、中央会の仲間や諸先輩方から学んだことを糧にして、広い視野をもった一人前の経営者となるよう努めて参ります。また、先代が培ってきた「ご縁」を大事にしながら、地域の皆様に必要とされる企業を目指して頑張りたいと考えておりますので、今後とも何卒ご指導ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。

中央会交響曲

副会長 高塚 康治

「帰ってきてごせや」1本の電話が私の人生を変えました。普通のサラリーマンの家庭で育った私は、大学を出て苦しみながらも県外の企業に就職。結婚子宝にも恵まれ、大きな仕事も任されるようになってきた矢先の出来事…。父からの電話でした。いつの間にか社長になっていた父は私にあれこれ言うタイプではなく、良く言えば放任、悪く言えばほったらかし。生まれて初めて本気で父から頼まれた一言でした。振り返ってみると、父の生き方にとっても影響を受けて育ってきたなあと感じます。直接指示はされないのですけれど、なんだか父の思惑通りの行動をとってしまっているのですね。あれから10年以上経ちました。影響を与えることができる人間力に拘って謙虚に精進いたします。

第3回お地蔵さまプロジェクト1月実行委員会開催

お地蔵さまプロジェクト 副実行委員長 仲佐 大志
(ペンリー米子皆生通り店 店長)

1月新年例会翌日の開催にも拘らずお忙しい中、実行委員会にご参加いただきまして誠にありがとうございました。1月の実行委員会では、各グループの事業内容及びフェスティバルまでの準備期間の説明をさせていただきました。堀尾実行委員長からプロジェクト全体について、Aグループはプレスリリース・チラシ・ガイドブックそしてそれぞれの配布リストについて、Bグループは絵画コンクール・お地蔵さま清掃・お地蔵さま創作会について、Cグループはステージイベント・クイズラリーについて、Dグループは大山流しそば・縁日運営についてそれぞれ説明させていただきました。またそれに対し沢山のご意見、ご質問をいただきましたので、その内容を改めて各グループ及び地域交流委員会で詰めていきたいと思っております。ありがとうございました。そして次回2月の実行委員会ではフェスティバル当日のお話をしていきたいと思っております。是非ご参加いただきまして、皆様の貴重なご意見、ご質問を頂戴出来ればと思います。お願いばかりで大変恐縮ではございますが、今後ともご協力の程宜しくお願い致します。



平成30年厄落としの会開催

浜浦 敬昌(榛さんれいフーズ 課長)

平成30年1月20日(土)勝田神社において、恒例の「厄落としの会」が開催されました。本年は後厄2名、本厄5名の計7名がこの日に備えて前日より身を清めて集結。寒風吹きすさぶ本殿でしっかりとご祈禱を受けました。ご祈禱を受ける間、頭の中を様々な思いが駆け巡る…「俺たちもこんな年になったのか…」。なかなか静かに物事を考える時間が無い中、心洗われる貴重な時間を過ごす事が出来ました。

その後は会場を「海王」へ移し懇親会へ突入。高塚副会長による乾杯で宴は幕を開け同年代同士気兼ねなく、同世代だからこそ分かり合える話題を肴に大いに盛り上がりました。最後は山口副会長にしっかりと中締めを頂き、「厄落としの会」は無事終了。しっかりと懇親を深める事が出来ました。

仕事、中央会、私生活とそれぞれの重責を担い、悩み、考える事の多いこの年代。しっかりと厄を落とし、今年も「悩み、苦しみ、笑い懸命に1年を駆け抜けていこう」そんな気持ちになれる充実した時間でした。



燃えよ龍 我が社の経営力

上村 卓弘(ダイニチ技研(株) 代表取締役)

弊社の仕事は建設コンサルタント業です。これは測量・設計・調査など、公共事業の土木分野になくはならない仕事です。また弊社は創業50年を超す老舗でもあり、次のような経営方針を定めて経営しています。

【組織の活性化と成長】

歴史の長い業界であるため、職員が高齢化し、若手の入職者も少ない状況です。これまで培ってきた技術を伝承するためにも、技術研修・社内面談・ボランティア・懇親会・社員旅行などを通じて、社内の活性化を図っています。この他に社内有志による釣りやロードバイクなどの部活もあります。

【利益確保と品質確保】

建設コンサルタントの原価は労務費が大半です。このため利益が確保できるよう、無駄な残業を抑制したり、最新の機器やソフトウェアを導入したりして、業務の効率を上げるようにしています。

また官公庁に業務成果を納めますが、この成果品にミスがあると後工程の土木工事にも大きく響いてきます。重大なミスが賠償責任に繋がった例もあります。照査や社内検査を通じて、品質を確保しています。

【総合評価落札方式に対応できる体制の確立】

総合評価落札方式とは難易度の高い業務の入札方式です。これに対応できるように、技術者の資格取得などを推進しています。国交省の所長表彰にあと1歩という評価の業務もあります。同業他社に負けないよう、日々切磋琢磨しています。



役職変更のお知らせ

浜田貴稔会員

(旧)有限会社こめや産業 専務取締役

(新)有限会社こめや産業 代表取締役

お手数ですが会員手帳の修正をお願いします。

2月役員会報告

平成30年2月1日(木)米子市文化ホール研修室2にて開催されました。

当日の主な内容は以下のとおりです。

- ・1月新年例会報告の件
- ・2月例会開催の件
- ・3月例会開催の件

詳細については各委員長にご確認下さい。

2月例会案内

と き：平成30年2月15日(木) 19:00~21:00
と ころ：米子市福祉保健総合センターふれあいの里(1階大会議室)
内 容：第1部 優秀な人材を確保する手法紹介
第2部 県内の雇用状況と労働者確保の為の行政施策
担 当：第43期 政治行政委員会

編集後記

新入会員アトラクションも無事に終わり一安心しました。終わったあとOB会員や現役会員の先輩方にたくさんのお言葉いただき、2ヶ月間しっかり準備をしてきて良かったと心から思いました。ありがとうございます。
(広報委員会 安達 大貴)